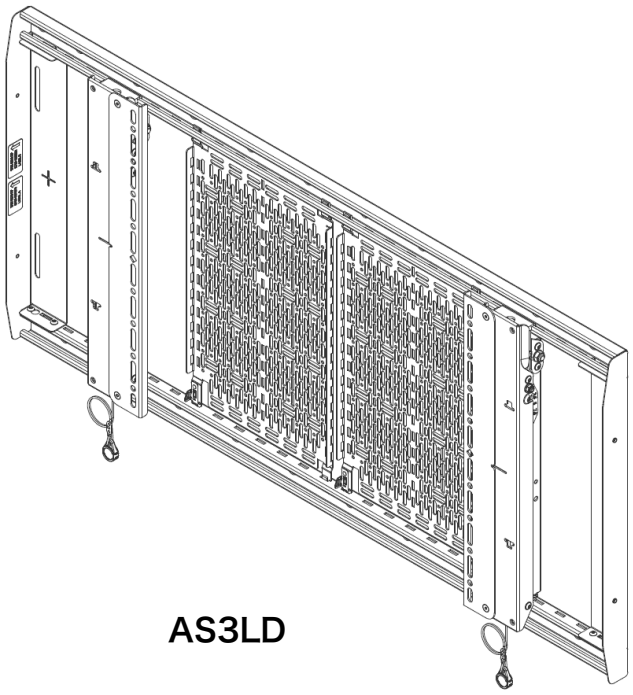
取扱説明書

壁掛ディスプレイマウント

型番：AS3LD

CHIEF®
A brand of legrand®



AS3LD

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、傾斜のない平らな場所に設置してください。
●ディスプレイを取り付ける際は必ず2名以上で行い、ケガや事故の無いように注意して設置してください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
●指定している高さ以上に設置しないようにしてください。

安全上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。
またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1.本製品を組み立てるネジ等は、付属品を用い、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2.本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイスタンドの適切な設置場所を決めてください。
3.本製品の組み立てに際してビス固定する場合は、先に仮止めしてから本締めをしてください。
4.取り付けるディスプレイおよびアクセサリーのトータルは108.8kgを超えないようにしてください。
5.本製品に取り付けることができるディスプレイサイズはおおむね86インチ以内です。

製 品 保 証 規 定

■ 保証内容

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、**無償修理させていただきますので、**お買い上げの販売店または**弊社までお申し出ください。**
なお、輸送による場合は弊社までの送料のご負担をお願いいたします。

■ 無償保証範囲

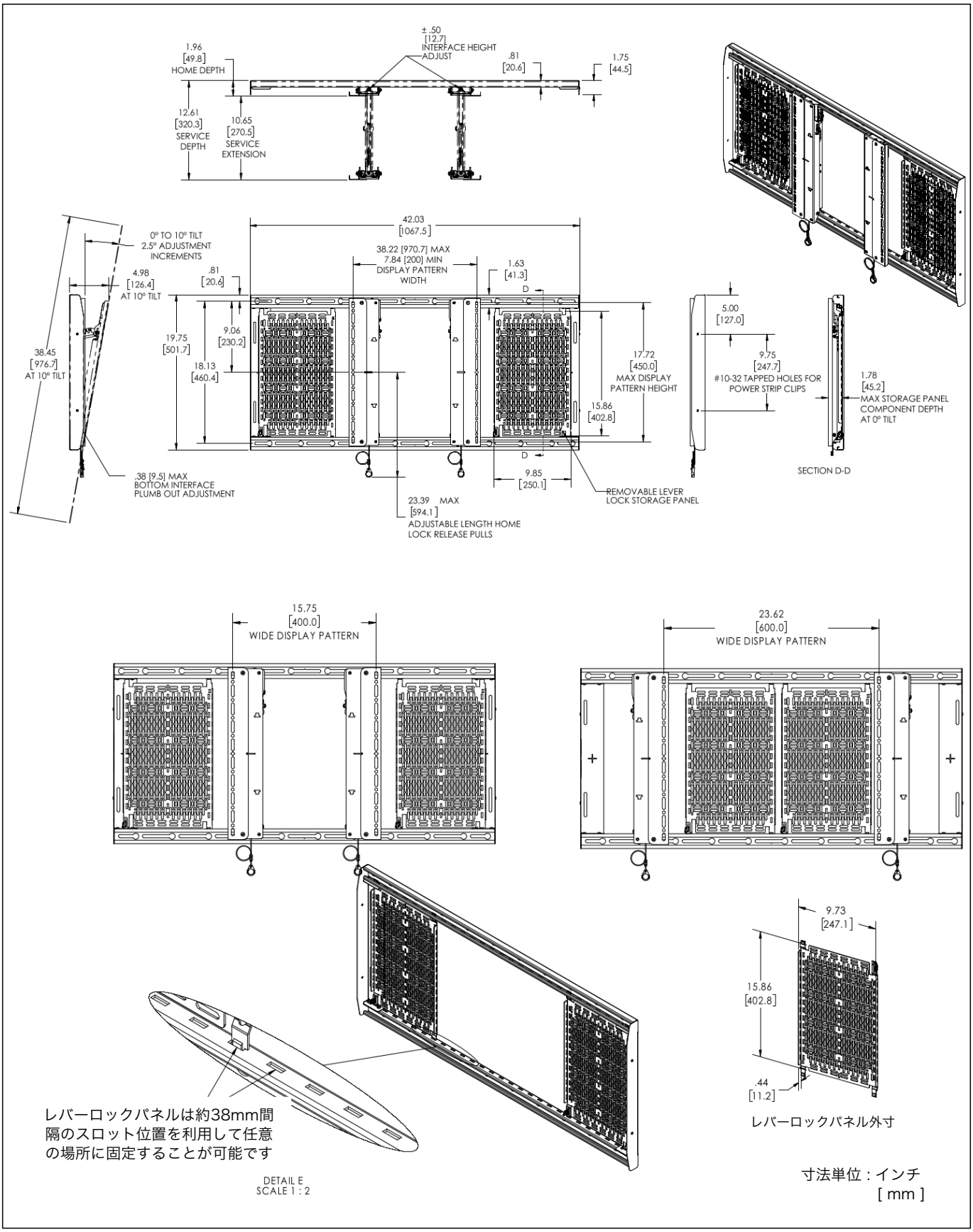
製品が故障した場合、お客様はお買い上げの日より一年間において、弊社に対して無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。
1) 故障した商品をお送りいただけない場合。
2) 弊社が動作保証するとして指定した機器以外でご使用の場合。
3) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
4) 火災・水害など天変地異などより故障した場合。
5) 輸送中の振動・落下により故障・破損した場合。
6) 弊社製品以外の製品に起因しての故障の場合。
7) 弊社以外で修理・調整・改造された場合。

■ 有効範囲

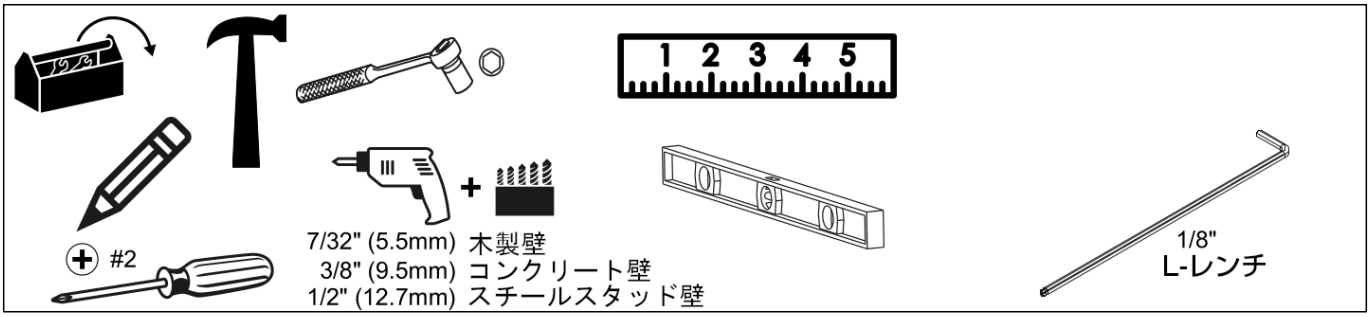
本製品保証規定では本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束いたします。従ってこの製品保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

■各部の寸法

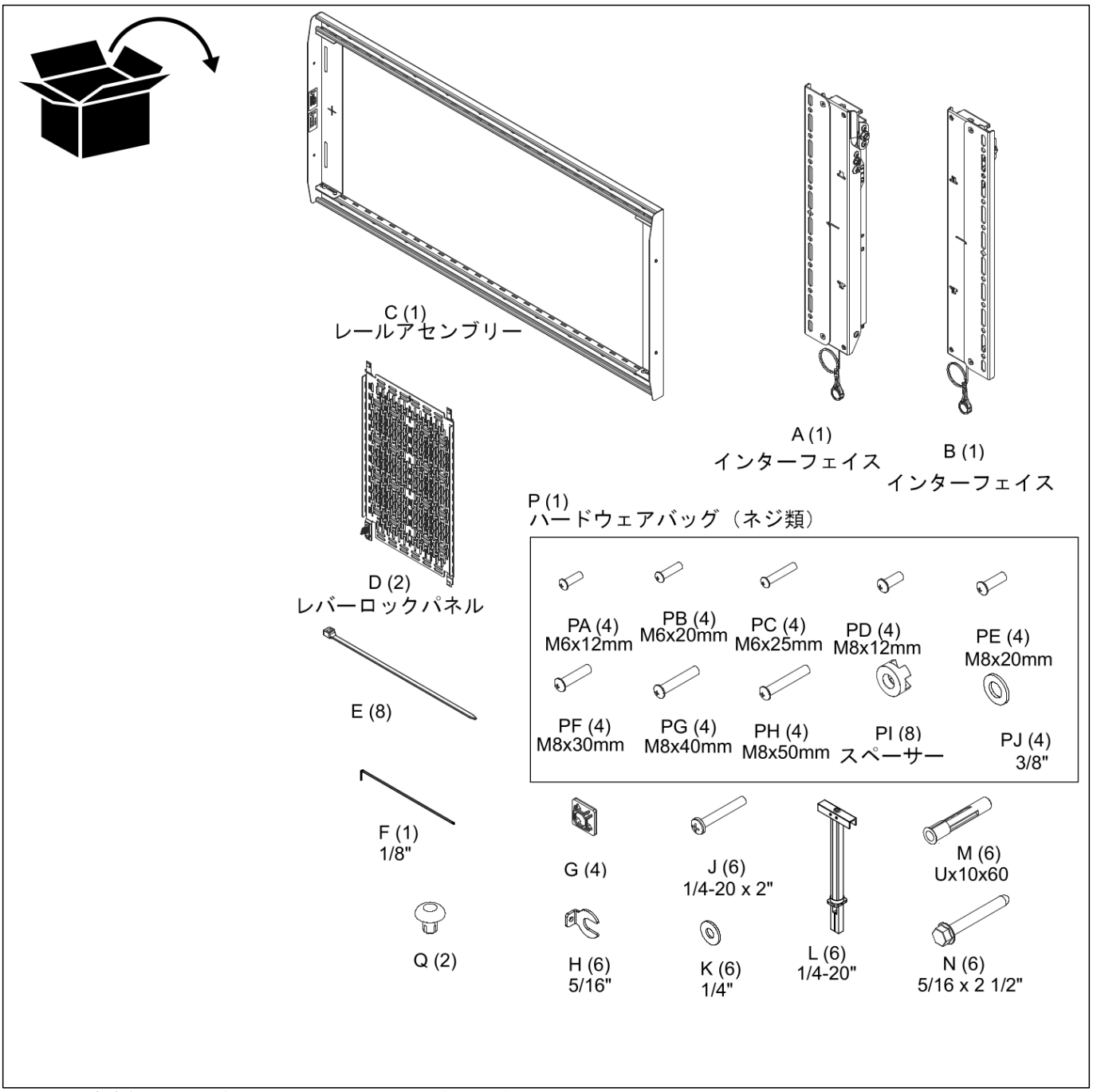

± .50
[12.7]
INTERFACE HEIGHT
ADJUST
1.96
[49.8]
HOME DEPTH
.81
[20.6]
1.75
[44.5]
12.61
[320.3]
SERVICE
DEPTH
10.65
[270.5]
SERVICE
EXTENSION
42.03
[1067.5]
0° TO 10° TILT
2.5° ADJUSTMENT
INCREMENTS
38.22 [970.7] MAX
7.84 [200] MIN
DISPLAY PATTERN
WIDTH
1.63
[41.3]
D
4.98
[126.4]
AT 10° TILT
.81
[20.6]
38.45
[976.7]
AT 10° TILT
19.75
[501.7]
9.06
[230.2]
18.13
[460.4]
17.72
[450.0]
MAX DISPLAY
PATTERN HEIGHT
15.86
[402.8]
5.00
[127.0]
9.75
[247.7]
#10-32 TAPPED HOLES FOR
POWER STRIP CLIPS
1.78
[45.2]
MAX STORAGE PANEL
COMPONENT DEPTH
AT 0° TILT
SECTION D-D
.38 [9.5] MAX
BOTTOM INTERFACE
PLUMB OUT ADJUSTMENT
9.85
[250.1]
REMOVABLE LEVER
LOCK STORAGE PANEL
23.39 MAX
[594.1]
ADJUSTABLE LENGTH HOME
LOCK RELEASE PULLS
15.75
[400.0]
WIDE DISPLAY PATTERN
23.62
[600.0]
WIDE DISPLAY PATTERN
9.73
[247.1]
15.86
[402.8]
.44
[11.2]
レバーロックパネル外寸
レバーロックパネルは約38mm間
隔のスロット位置を利用して任意
の場所に固定することが可能です
DETAIL E
SCALE 1 : 2
寸法単位：インチ
[mm]

組 立 手 順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物



・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

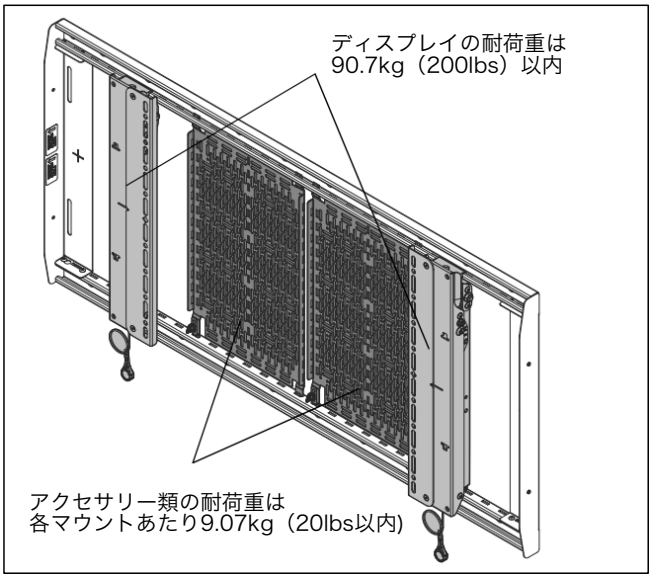
■本製品の組み立てと壁への取付け

AS3LDマウントは、20cm厚コンクリート壁、またはツーバイフォー木材、スチールスタッド（40cmスパンあるいは60cmスパン）、厚さ12mm（最小）～16mm（最大）の石膏ボード（要補強）に取り付けることを想定して設計されています。

⚠ 警告：不適切な設置は、マウントの落下による深刻な人身事故や機器の破損を招く恐れがあります。

本製品の耐荷重性能の表記を満たすには、設置・施工業者の責任においてマウントを取り付ける構造物が、マウントに取り付けられているすべてのコンポーネントの合計重量（108.8kg 以内）の5倍を支えることができることを確認し、必要に応じて適切に補強してください。

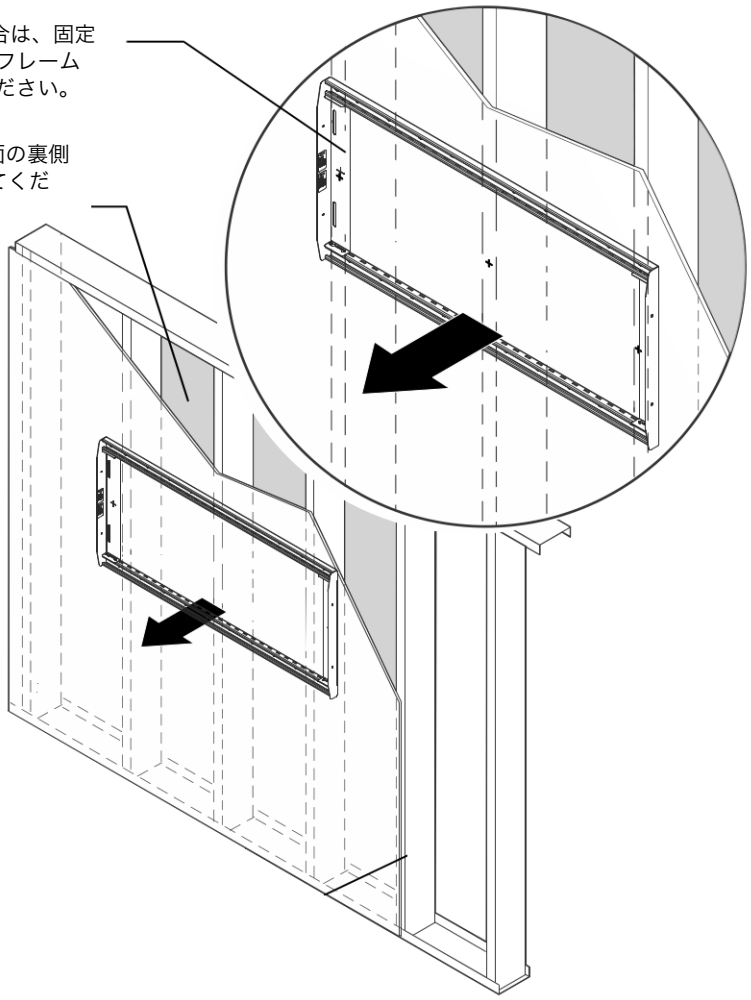
⚠ 注：壁の取付に際しては「木製スタッド壁への設置」、「スチールスタッド壁への設置」、または「コンクリート壁への設置」のそれぞれの項に進んでください。



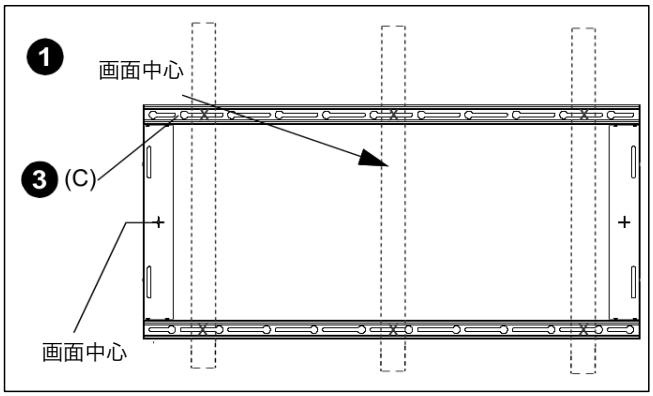
【各取付部位ごとの耐荷重の考え方】

⚠ 600mm間隔のスタッドの場合は、固定位置は補強桟の等割りにし、フレーム中央も固定するようにしてください。

背面の補強が必要な場合は、壁面の裏側が完成していないうちに施工してください。



1. ディスプレイの中心と壁の位置を確認して固定位置を決めてください。
2. まずディスプレイの中心に最も近いスタッドの位置を確認し、次に選択した位置の左または右に最も近いスタッドの位置を確認します。次に40cm間隔のスタッドに取付ける場合は、可能な限り3スパン分のスタッドに固定必要があります。
3. レールアセンブリ（C）のスロットを、先に特定した2スパンまたは 3スパンのスタッド位置に合わせます。(図 2 参照)

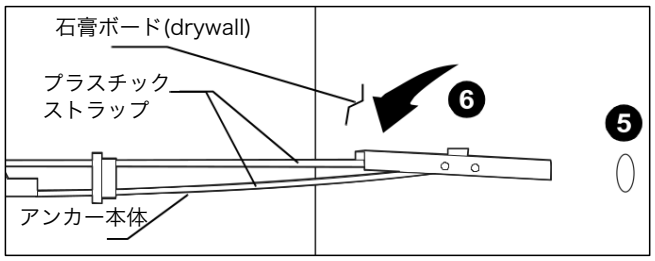


【図-2】

■アンカー固定について

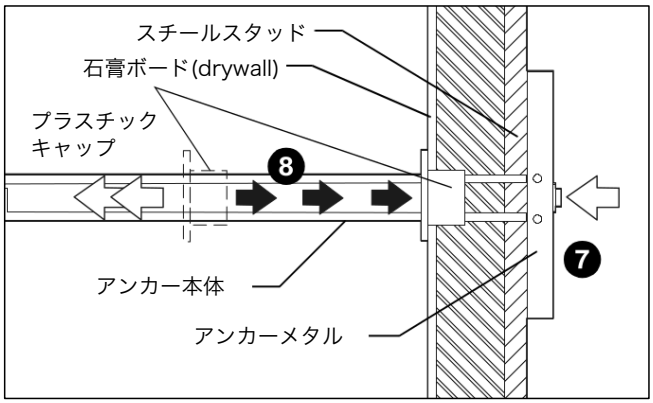
⚠ 注意：施工業者の責任のもと、壁の材質や施工方法にあった適切なアンカーや固定具を別途お買い求めになり、安全に施工してください。

4. 水平器を使用し、各スタッドの壁に印を付け、取付スロットにマウントを取り付けます。(図 6 参照)
5. 上下の取り付け穴の位置に、12.7mm （1/2 インチ）の下穴を 4 つまたは 6 つ開けます（各スタッドに 1 つずつ）。
   上下の取り付け穴の位置に、4～6個の下穴 （12.7mm）を開けます。(図 3 参照）および（図 6 参照）
6. アンカー（L）上の金属チャンネルをプラスチック製ストラップと平行に持ち、 チャンネルを穴に通します。(図 3 参照)



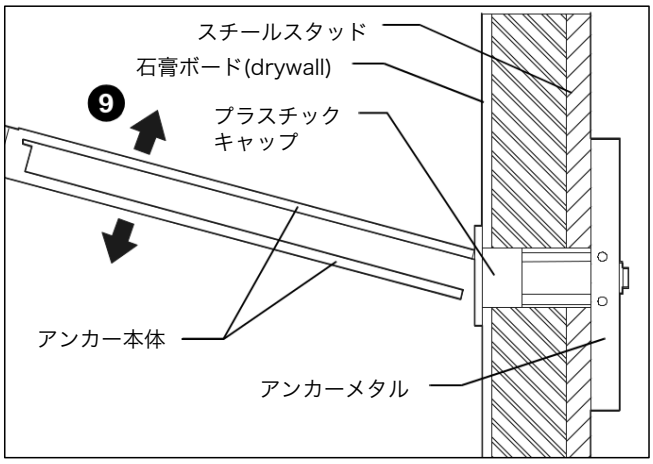
【図-3】

7. プラスチック製ストラップをアンカー (L) に取り付けたまま、アンカーを壁から引き離し、アンカーチャンネルがスタッド上に垂直になるようにしてください。(図 4 参照)
8. キャップのフランジが壁と同じ高さになるまで、アンカー のプラスチックキャップを壁に向かってスライドしてください。(図 4 参照)



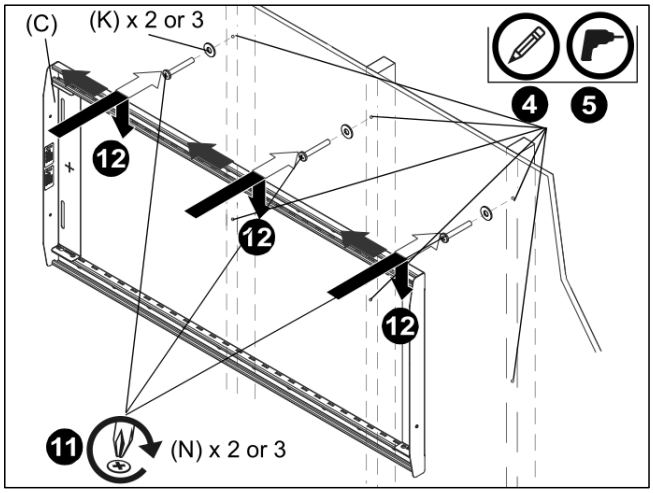
【図-4】

9. アンカー(L)のプラスチック製ストラップを壁際で左右に押し、プラスチック製キャップのフランジと水平になるようにストラップをスナップオフする。(図 5 参照)
10. 各取付穴について、ステップ6～9を繰り返します。



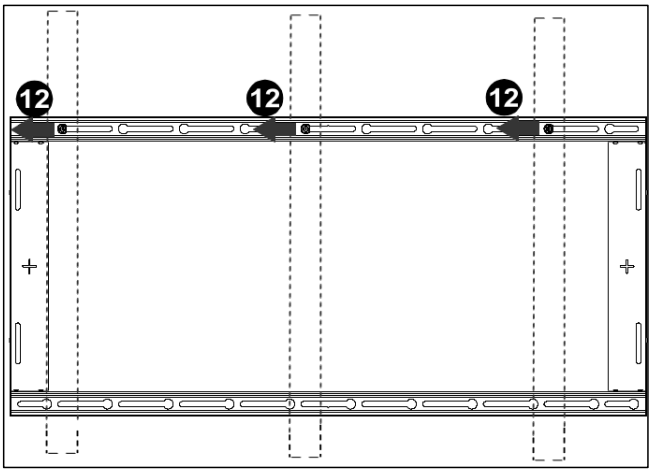
【図-5】

11. アンカー (L) に 1/4-20 x 2" フィリップス・パン・マシン・スクリュー (J) を 2 個または 3 個と 1/4" ワッシャ (K) を 2 個または 3 個、部分的に取り付けますが、壁には締め付けないでください。(図 6 参照)



【図-6】

12. レールアセンブリ (C) を吊り下げ、ネジ (J) がキー穴スロットの外に出て、マウントを壁に固定できるようになるまで、左にスライドしてください。
(図 6 参照）および（図 7 参照）

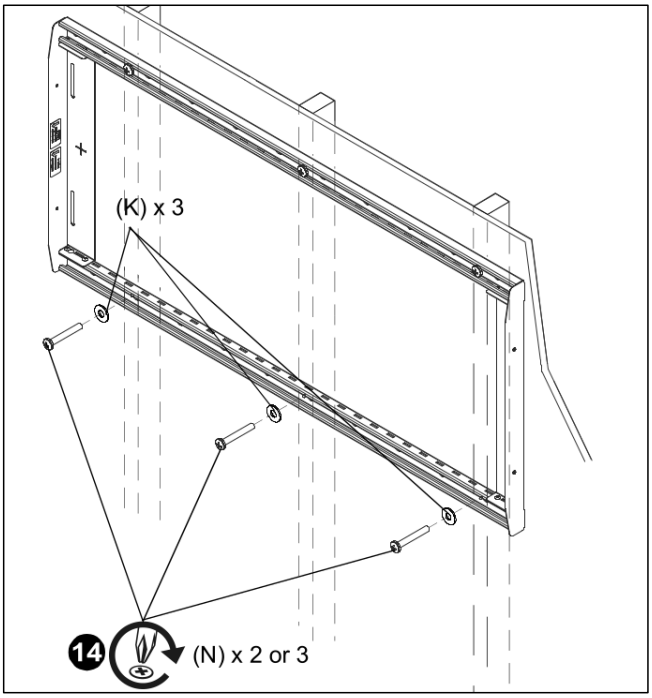


【図-7】

13. ネジ (J) を締め、レールアセンブリ (C) を上部の取り付けスロットで壁に固定してください。(図 8 参照)

⚠ 警告: 取付金具の締め過ぎは、スチールスタッドを損傷する恐れがあります。取付金具を締め過ぎないでください。

14. 1/4-20 x 2 "プラス皿ネジ（J）2個または3個と1/4 " ワッシャー（K）2個または3個を使用し、下部取り付け穴を通してマウントを壁に取り付けます。(図 8 参照)

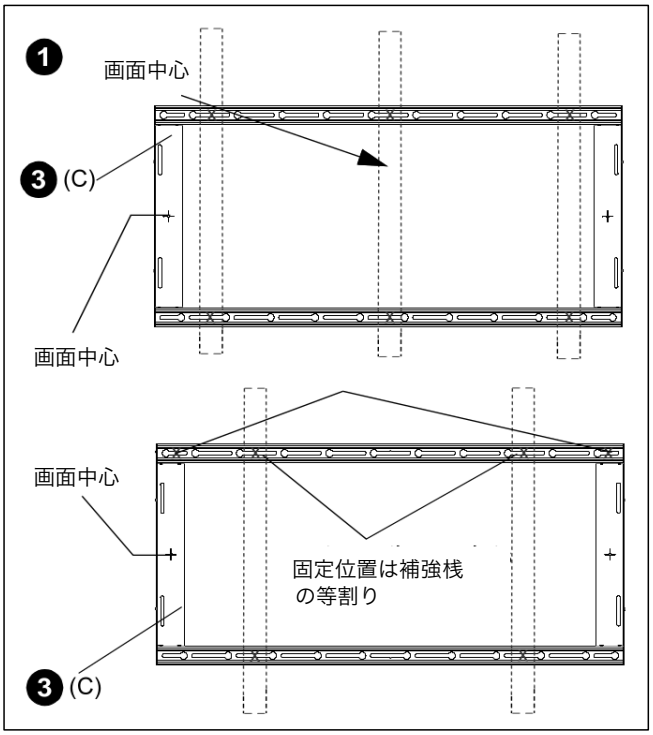


【図-8】

15. インターフェイスブラケットをスクリーンに取り付けるセクションに進んでください。

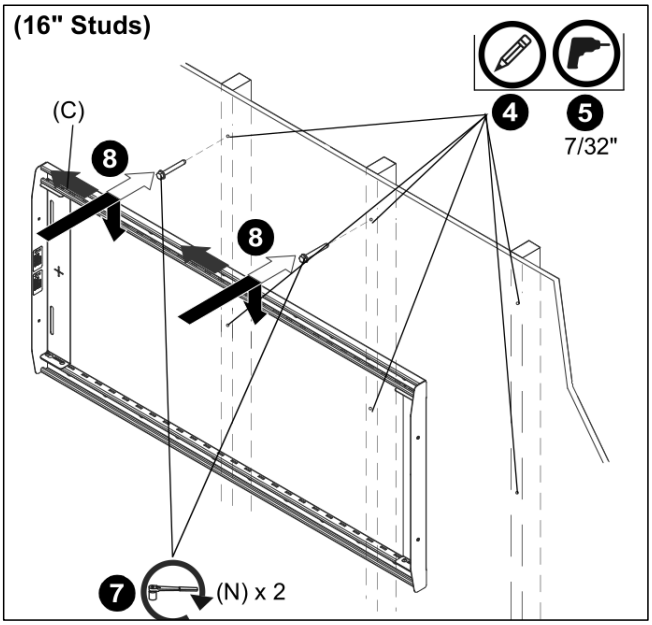
■木製スタッド壁への取り付け

1. ディスプレイの中心と壁の位置を決めてください。
2. ディスプレイの中心に最も近いスタッドを探し、その位置の左または右に最も近いスタッドを探します。
16インチスタッド（約400mmのスタッド間隔の場合）に取付ける場合は、3本のスタッドに取付けるのが好ましい。24インチスタッド（約600mmのスタッド間隔の場合）に取り付ける場合は、2本のスタッドにのみ取り付け可能で、外側のレール穴にトグルアンカーを2本追加する必要があります。(図 9 参照)
3. レールアセンブリ（C）のスロットを、先に確認した2本または3本のスタッドに合わせます。(図 9 参照)

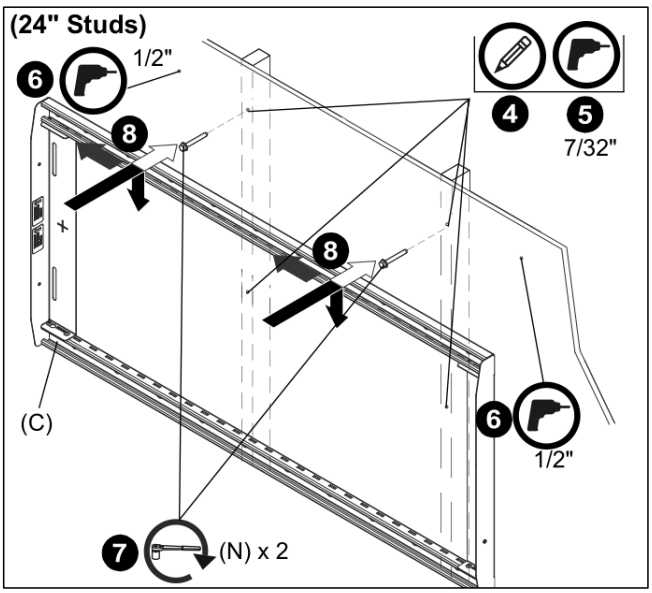


【図-9】

4. 水平器を使用して各スタッドの壁に印を付け、取付スロットにマウントを取り付けてください。(図 10 参照）または（図 11 参照）
5. 上下の取り付け穴の位置に、7/32インチ （5.5mm）の下穴を4つまたは6つ開けてください。（各スタッドに1つずつ）(図 10 参照）または（図 11 参照）
6. (24インチスタッドのみ) 追加の2つの穴用にマークされた外側の位置に、1/2インチ(12.7mm)のパイロット穴を2つ開ける。トグルアンカー (L)をスチールスタッドへの取り付けセクションのステップ6-9に従い、これらの穴に取り付けてください。(図 11 参照）
7. 5/16 x 2-1/2 "フランジ付きラグボルト (N) を上部の下穴に部分的に取り付けますが、壁には締め付けないでください。(図 10 参照) または (図 11 参照)

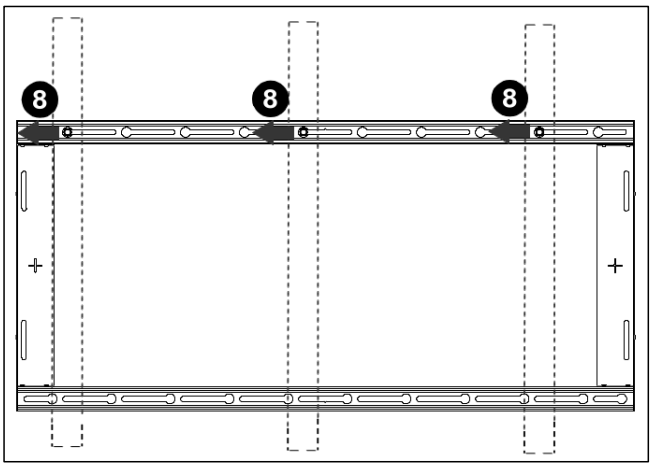


【図-10】



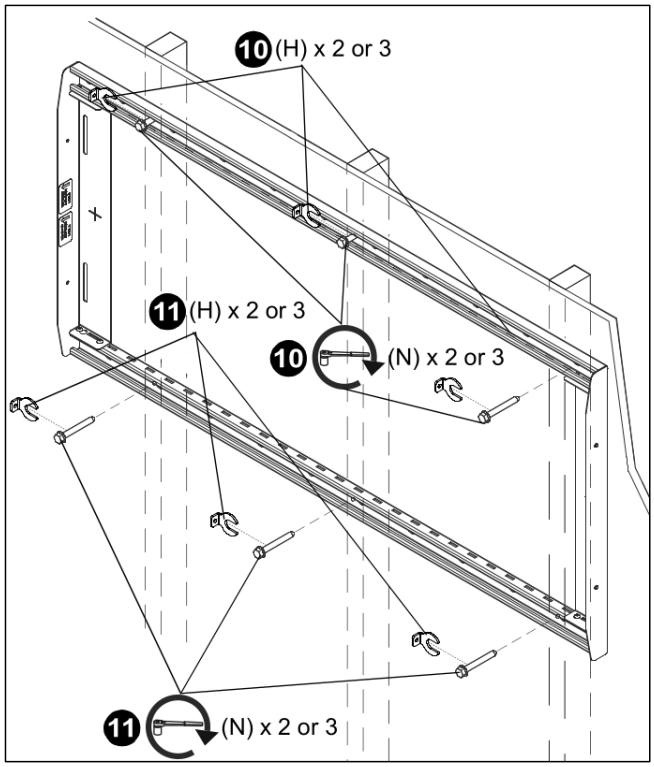
【図-11】

8. レールアセンブリ (C) を吊り下げ、ボルト (N) がキー穴のスロットから外れ、マウントを壁に固定できるようになるまで、わずかに左にスライドさせます。(図 10 参照）または （図 11 参照）および （図 12 参照）



【図-12】

9. 溝付きワッシャ (H) を各フランジ付きラグボルトにかぶせてください。(図 13 参照）
10. ラグボルトを締め、レールアセンブリ (C) を上部の取り付けスロットで壁に固定する。3つのスタッド上に設置する場合、3つ目の5/16 x 2-1/2 "フランジラグボルト (N) を5/16 "スロットワッシャ(H)と共に右上の取り付け穴 に取り付けてください。(図 13 参照）
11. 2 個の 5/16 x 2-1/2 "フランジ付きラグボ ルト (N) と 2 個の 5/16" スロットワッシャ (H) を使用し て、下側の取り付け穴から壁にマウントを取り付けてください。(図 13 参照)



【図-13】

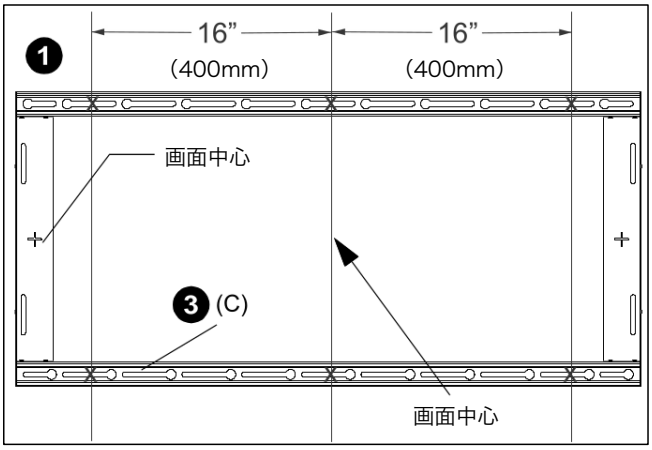
12. (24 "スタッドのみ) 1/4-20x2 "プラスなべ座金ねじ (J) 2本と1/4 "ワッシャー (K) 2枚を手順7で取り付けたアンカー (L) に取り付けてください。

■コンクリート壁への取り付け

⚠ 重要：AS3LDは、厚さ8 "のコンクリート壁または8 "x 8 "x16 "のコンクリートブロック壁に取り付けるように設計されています。
固定具(ファスナー)は、レール/ストラットチャンネルの両端から最低16インチ（約400mm）、最大24インチ（約610mm）離し、かつ9インチ（約230mm）以内に設置してください。

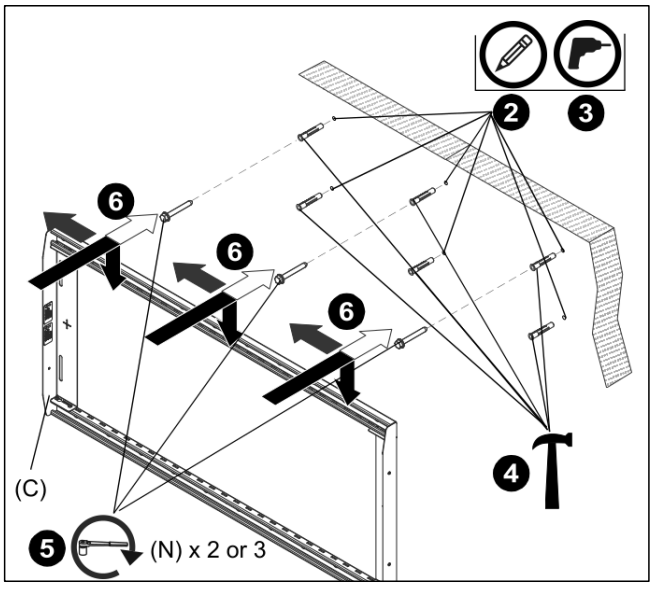
1. ディスプレイの中心と壁面の位置を決めてください。

注意：取り付け穴間の水平距離は400mmです。取り付け穴の間隔は、400mm (16 インチ) 以上離してください。



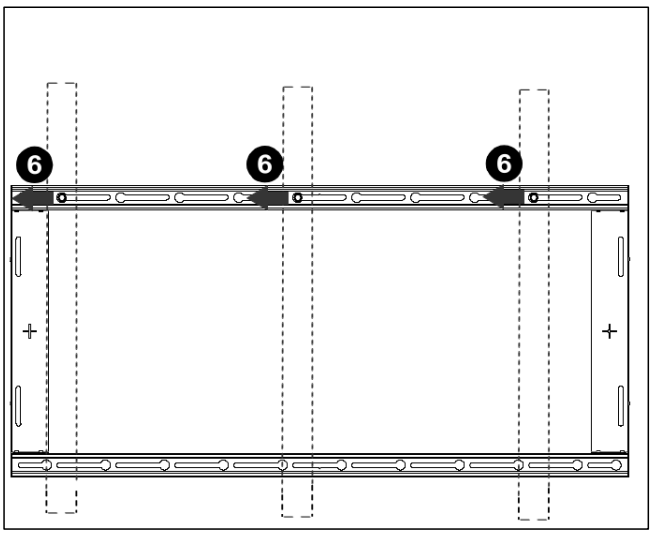
【図-14】

2. 水平器を使用し、壁に少なくとも406mm（16インチ）間隔で取り付け穴の位置に印を付けてください。(図 14 参照)
3. 上下の取り付け穴の位置に3/8インチ（9.5mm）の下穴を6つ開けてください。
4. ハンマーでコンクリート・アンカー (M) 6 本を、ドリルで開けた穴に取り付けてください。(図 15 参照)
5. 5/16x2-1/2 "フランジ付きラグボルト(N)3本を上部アンカーに部分的に取り付けますが、仮止めとし壁には本締めはまだしないでください。(図 15 参照)



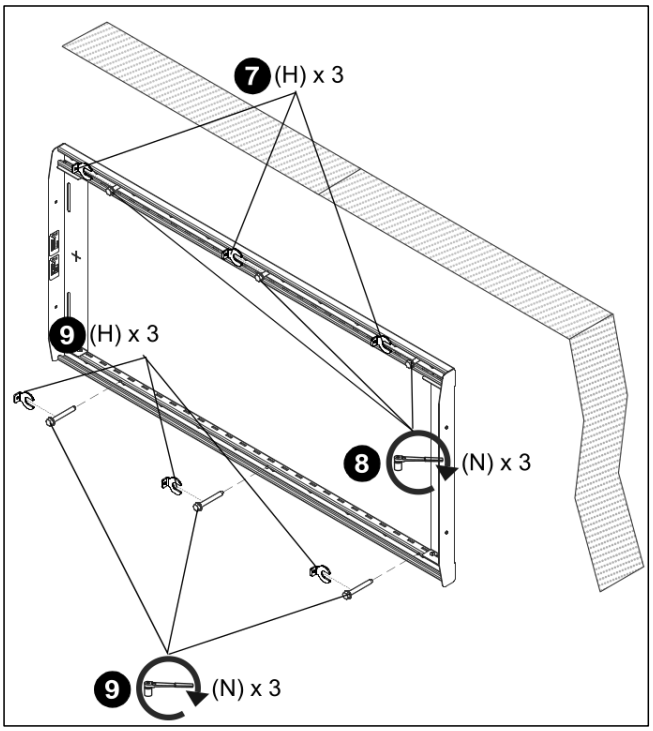
【図-15】

6. レールアセンブリ (C) を吊り下げ、ボルト (N) がキー穴スロットから外れ、マウントが壁に固定されるようになるまで左側に少しスライドさせます。（図 15 参照）



【図-16】

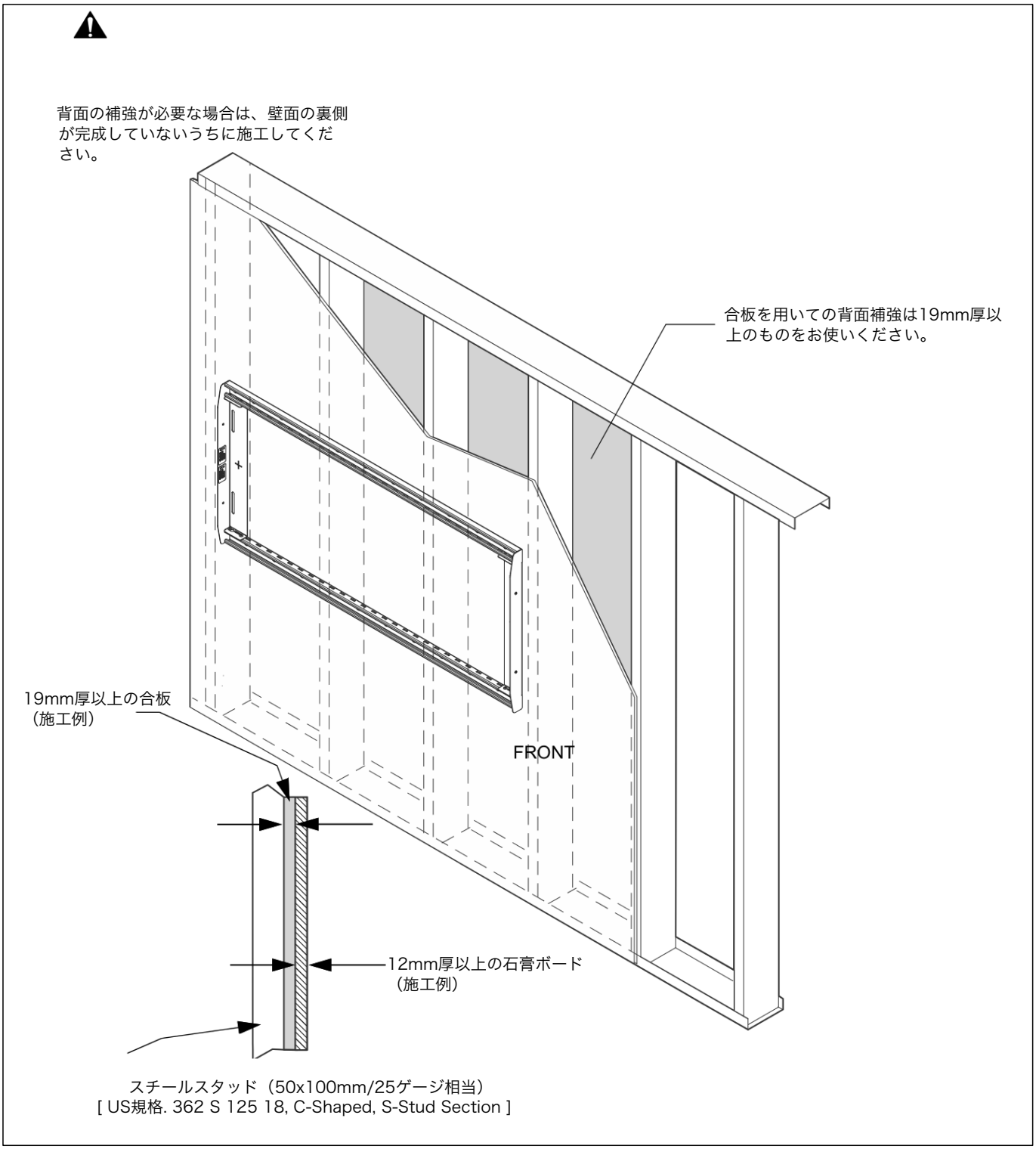
7. 各フランジ付きラグボルトに、溝付きワッシャ (H) を 1 つずつかぶせてください。(図 17 参照)
8. ラグボルトを締め、レールアセンブリ (C) を上部の取り付けスロットで壁に固定してください。(図 17 参照)
9. 5/16 x 2-1/2 "フランジラグボルト (N) 3 本と 5/16" スロットワッシャ (H) 3 枚を使用し、下側の取り付け穴を通してマウントを壁に取り付けてください。(図 17 参照)



【図-17】

■スチールスタッド壁に裏面から合板で補強する場合

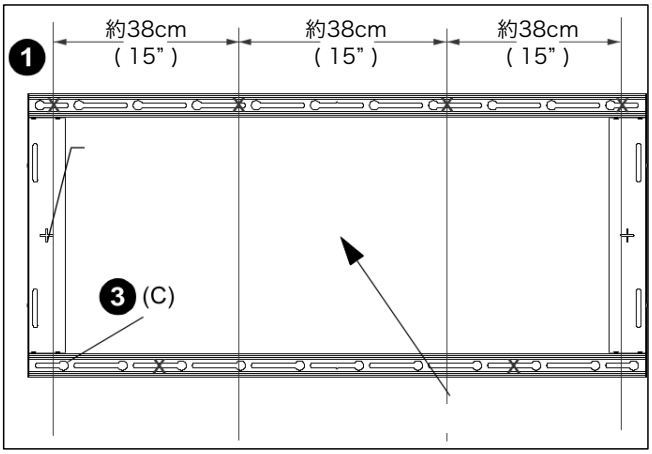
⚠ 警告：取り付けが不適切な場合、装置が落下して重大な人身事故や装置の破損を招くことがあります。
下図は、スチールスタッド構造へのディスプレイマウントの設置に関する最低要件を示しています。
構造またはそのコンポーネントがこれらの要件を満たさない場合は、取り付けを行う前にマウントメーカーにお問い合わせください。
また、同一スタッド上に想定範囲以上の荷重のかかる他の装置等を取り付けないように注意してください。



【図-18】

1. ディスプレイの中心と壁の位置を決めてください。

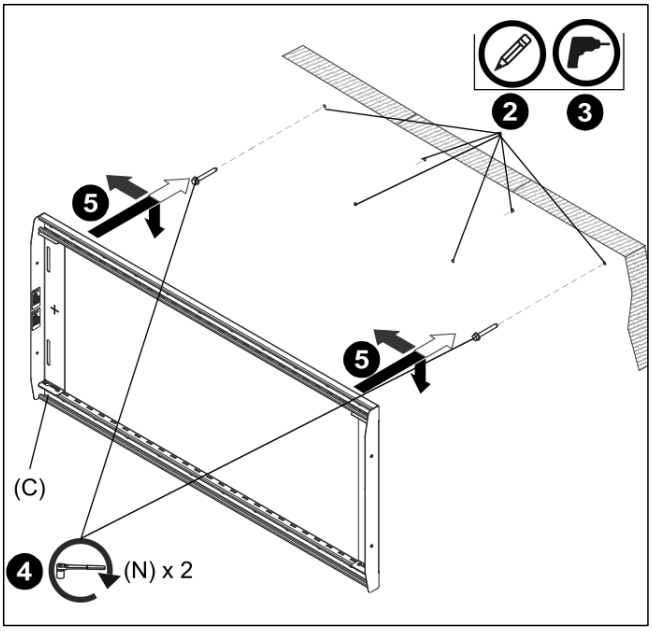
⚠ 重要：背面を合板で補強したスチールスタッドにマウントを取り付ける場合、適正荷重分担と分散荷重の意味で上部レールに4箇所、下部レールに2箇所の固定をしてください。上部の固定ネジの間隔は約38cmより著しく開けないでください。



【図-19】

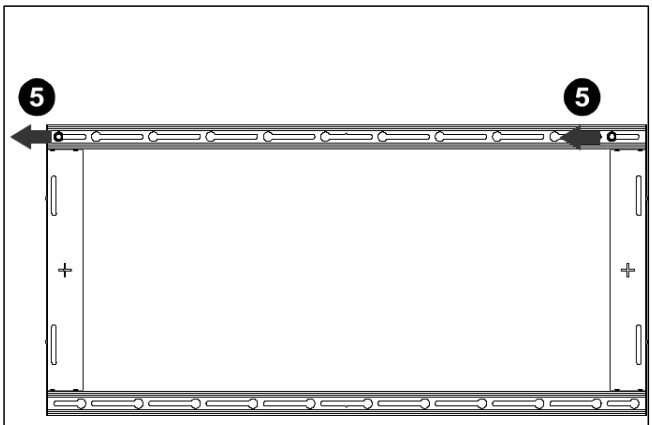
2. 水平器を使用し、約38cm離した4箇所の上部取り付け穴の位置に壁に印を付けてください。図 18 に示す位置に、下側の穴 2 つに印を付けてください。(図 19 参照)

3. 上部と下部の取り付け穴の位置に、5.5mm (7/32 インチ) の下穴を 6箇所開けてください。
4. 2本の 5/16 x 2-1/2 "フランジ付きラグボルト (N) を外側の上部の穴に仮止めしてください。このとき、壁には締め付けないでください。(図 20 参照)



【図-20】

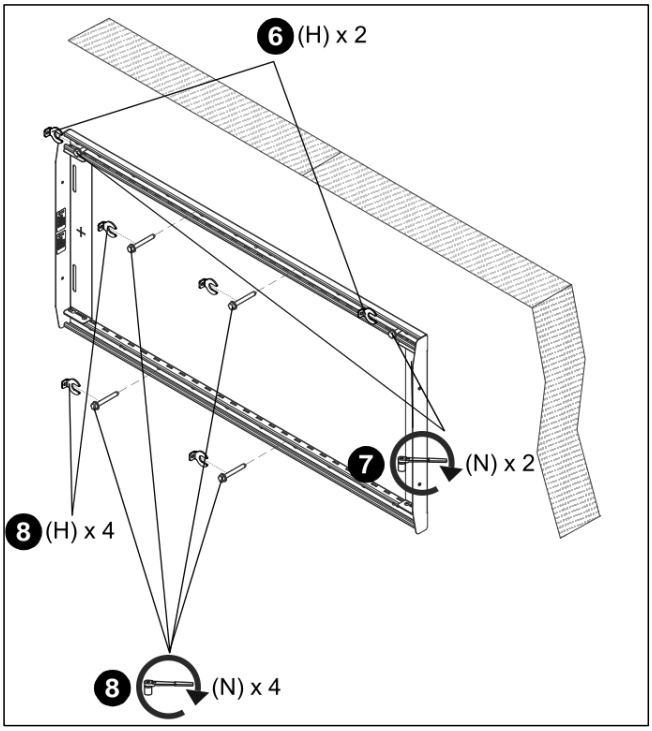
5. レールアセンブリ (C) を吊り下げ、ボルト (N) がキー穴スロットから外れ、マウントを壁 に固定できるようになるまで、わずかに左にスライドさせます。
(図 20 参照) および (図 21 参照)



壁側に固定ネジを仮止めした後、固定ネジを鍵穴に通してスライドすると施工を速くすることができます。
（この時、ワッシャー径は鍵穴より小さい必要がありますので、スロット付きワッシャー (H) などを活用してください。）

【図-21】

6. 各フランジ付きラグボルトに、溝付きワッシャ (H) を 1 つずつかぶせてください。(図 22 参照)
7. ラグボルトを締め、レールアセンブリ (C) を上部取り付けスロットで壁に固定してください。(図 22 参照)
8. 4 本の 5/16 x 2-1/2" フランジ付きラグボルト (N) と 4 本の 5/16" スロット付きワッシャ (H) を使用して、残りの上部と下部の取り付け穴を通してマウントを壁に取り付けてください。(図 22 参照)



【図-22】

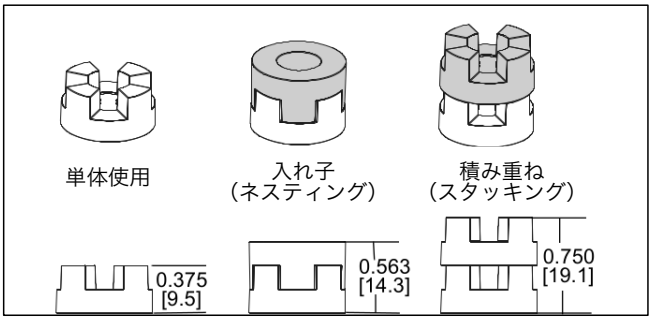
■ディスプレイにブラケットを取り付ける

1. ディスプレイにキズをつけないよう、滑りにくく柔らかい台などに画面を下向きにして置いてください。

⚠ 警告：不適切な取り付けは、ディスプレイの落下による重大な人身事故や装置の損傷につながる可能性があります。不適切なサイズのネジを使用すると、ディスプレイを損傷することがあります。適切なサイズのネジは、取り付け穴に簡単かつ完全にねじ込むことができます。スペーサーが必要な場合は、必ず同じ直径の長いネジを使用してください。

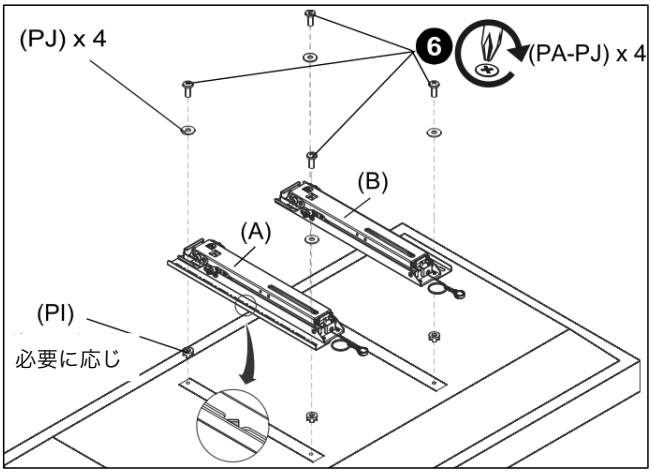
2. 固定ネジ（PA-PCおよびPD-PH）（6mmまたは8mm）を調べ、ディスプレイの取り付け穴を確認して、ネジの直径を選択します。(図 24 参照)
3. スペーサーを選択してください。

注：ネスティングスペーサー（PI）は、任意の構成で組み合わせることで異なる高さのスペーサーを作成することができます。(図 23 参照)



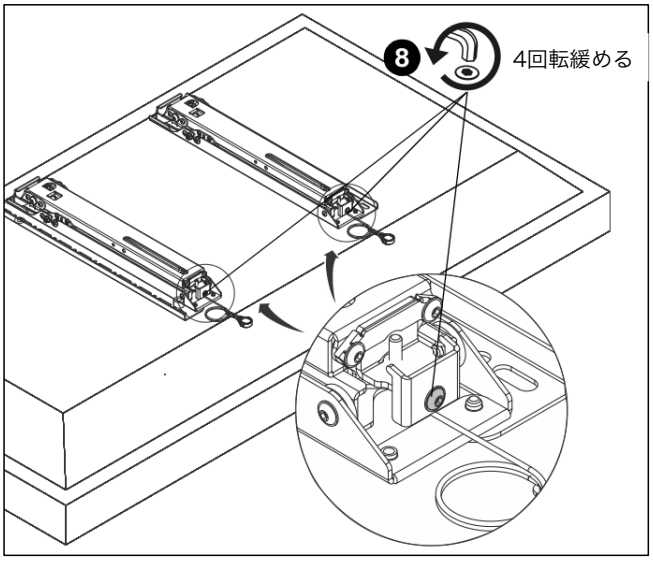
【図-23】

4. ネジの長さの選択：（図 24 参照）
- 選択した直径（PA-PH）の最も短い長さのネジを、3/8 "ワッシャー（PJ）、ブラケット（AまたはB）、入れ子式スペーサー（PI、必要な場合）を通して、ディスプレイの取り付け穴に手で挿入します。次にディスプレイに仮に取り付けてください。
- ネジの長さが適切であるためには、ネジの頭の付け根が平座金の上に、ネジの直径と同じかそれ以上出ている必要があります。ネジの長さが不十分な場合は、長いネジを選択してください。必要な長さだけ突出する最も短いねじを選択してください。



【図-24】

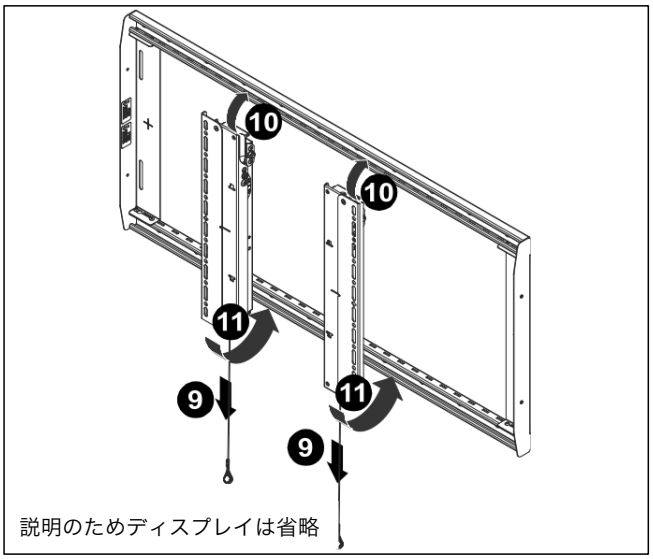
5. インターフェイスブラケットの菱形位置がディスプレイの中心と等しいことを確認します。(図 24 参照)
6. 必要に応じて、選択したネジ (PA-PH)、ワッシャ (PJ)、スペーサ (PI) を使用して、インターフェイスブラケット (A と B) をディスプレイの背面に接続します。(図 24 参照)
7. チルト調整セクションの指示に従い、希望に応じてチルトを調整する。
8. 各インターフェイスブラケット (A と B) の下部にある 2 つのボタンヘッドキャップネジを最低 4 回転緩めます。(図 25 参照)



【図-25】

⚠ 注: 取り付ける前に、高さ調整が中央にあることを確認してください。

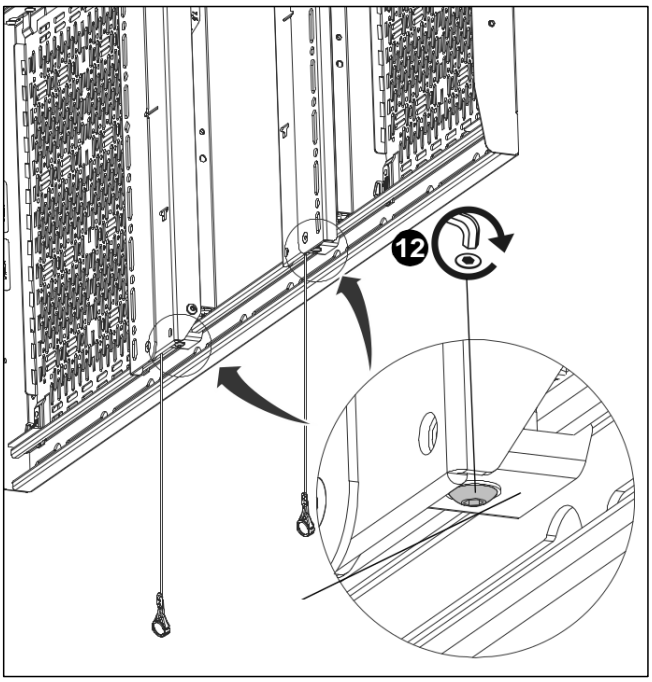
9. 各インターフェース・ブラケット (A と B) のホーム・ラッチ・リリース・コードを下げてください。(図 26 参照)
10. 取り付けたインターフェースブラケットでディスプレイを持ち上げ、ブラケット の上部をマウントの上部に引っ掛けてください。(図 26 参照)
11. インターフェイスレールのフックを下部レールの下にスライドさせてください。(図 26 参照)



【図-26】

⚠ 重要：引きひもがマウントから外れ、下部レールのブラケットに引っかからないようにしてください。

12. インターフェース・レール・フックが両方のインターフェース・ブラケット の下部レールの下に固定されるまで、手順 8 で緩めたネジを締めてください。(図 27 参照)

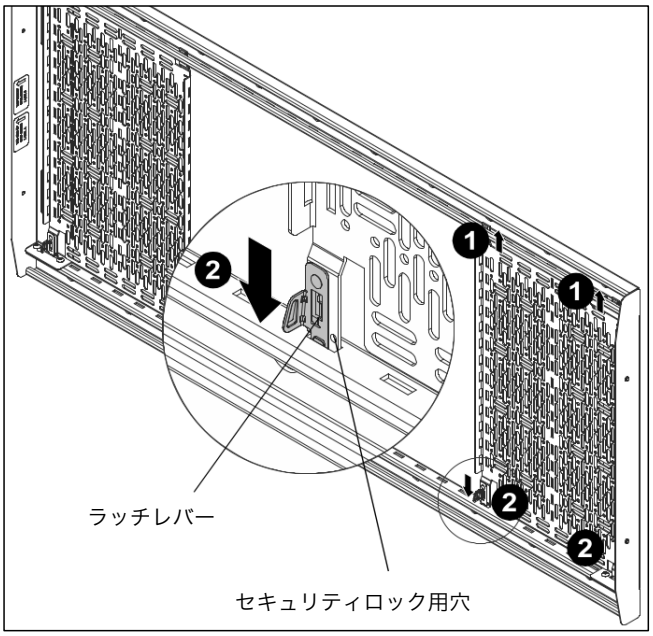


【図-27】

■レバーロックマウントの取り付け

⚠ 注：CHIEF製品では、ディスプレイ製品と組み合わせて取り付ける機器収納マウントのことを” レバーロック (LeverLock)”マウント、あるいはレバーロックシステムと呼びます。
以下、説明書に「レバーロック」の用語がある際は、その固有の製品の説明を指すものとします。

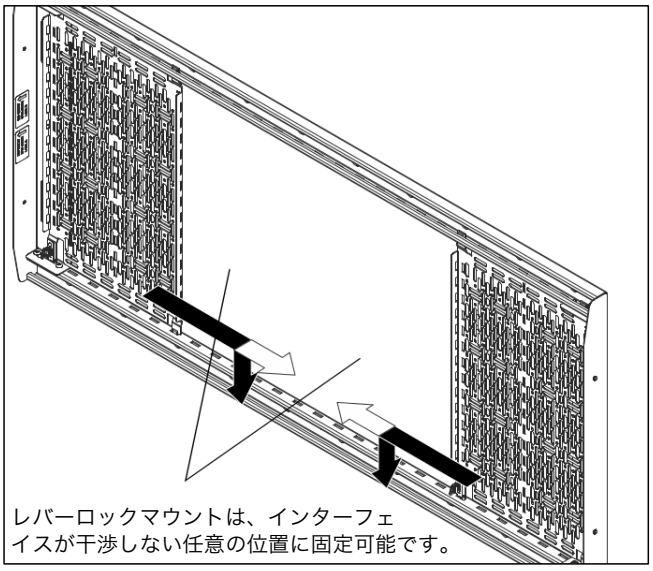
1. レバーロックバックマウント (D) をレールアセンブリ (C) 上面のスロットにスライドさせます。(図 28 参照)
2. レバーロックバックマウント (D) を反対側のスロットにスライドさせ、"カチッ "と音がするのを確認してください。(図 28 参照)



【図-28】

注意: 必要に応じて、レバーロックリベット (Q) を使用して下さい。図 27 の穴に取り付けてください。

注意：レバーロックマウント（D）は、用途や使用目的に応じてレールアセンブリ（C）の固定範囲にある水平方向の任意の場所に取り付けることができます。(図 29 参照)



【図-29】

3. レバーロックマウントに各種機器を、それらの製造元の説明書に従って取り付けてください。必要に応じてケーブルタイ (E) やケーブルタイクリップ (G) 等を使用し、パネルに機器類を安全に固定してください。

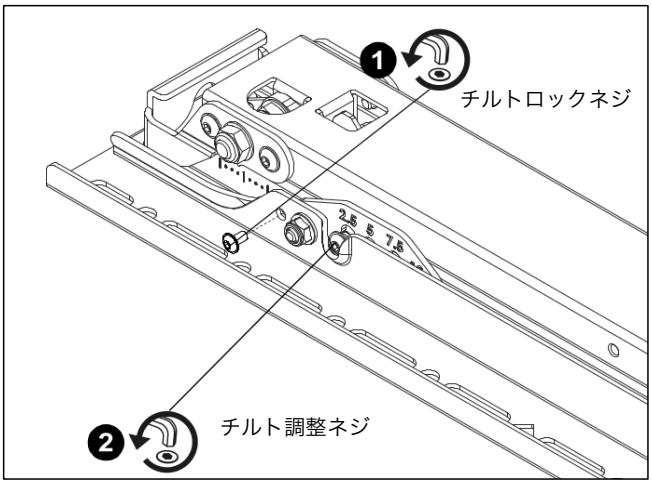
■各部の調整

チルト調整

1. ディスプレイをマウントから取り外した状態で、チルト機能を使うためにインターフェイスブラケット (A および B) からチルトロック（傾斜角度固定）ねじを取り外してください。(図 30 参照)

⚠ 注：チルト機能を使用しない場合は、チルトロックネジを取り外す必要はありません。

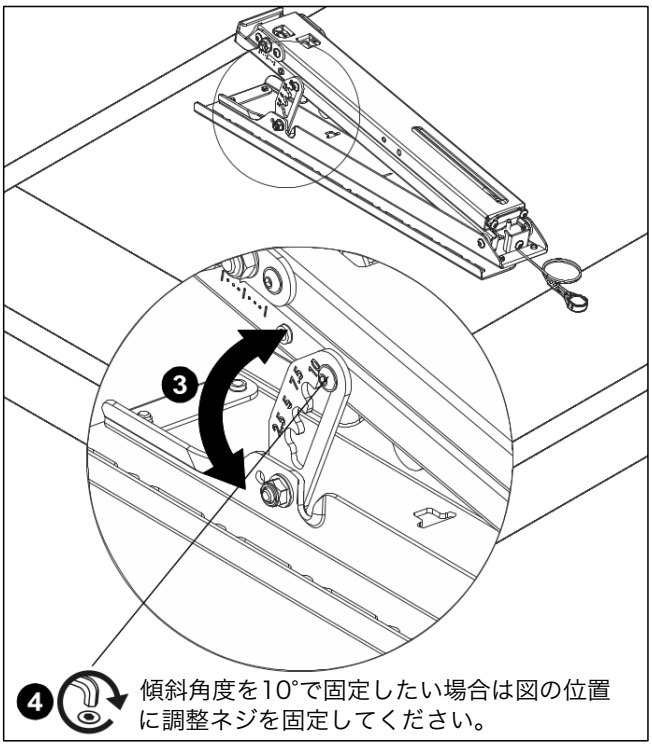
2. インターフェースブラケット (A と B) のチルト調整ネジを緩めます。(図 30 参照)



【図-30】

3. チルトを希望のチルト角度に調整します。(図 31 参照) 設定角度は2.5°、5°、7.5°、10°の4段階です。

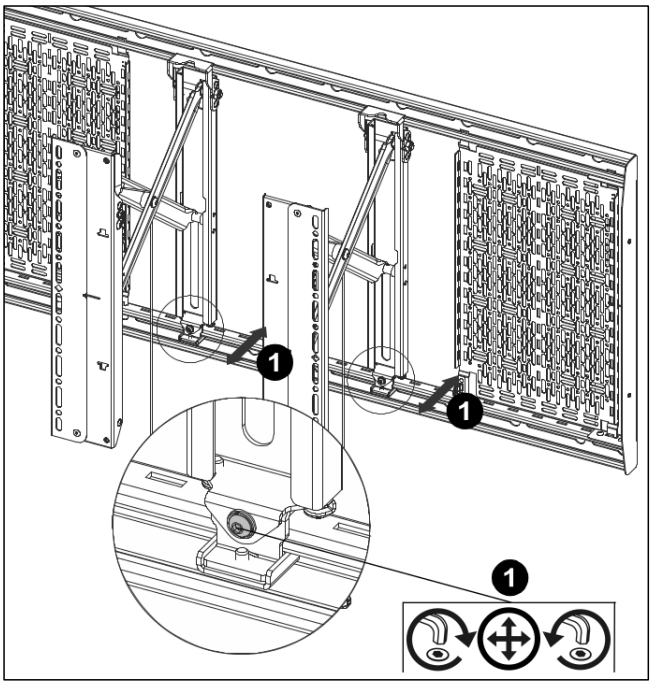
4. チルト調整ネジを締め、チルト位置をロックしてください。(図 31 参照)



【図-31】

■鉛直調整

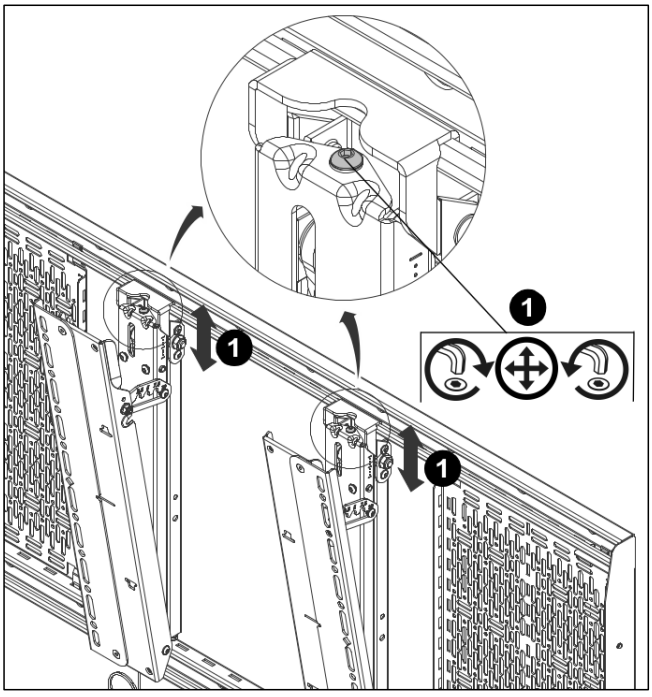
1. ディスプレイを引き出す際に重量の関係で勝手に下がってきたり、動きがスムーズでない場合は、各インターフェースブラケット (A と B) にある鉛直調整ネジを操作し、アップライトを鉛直にすることで改善されることがあります。(図 32 参照)



【図-32】

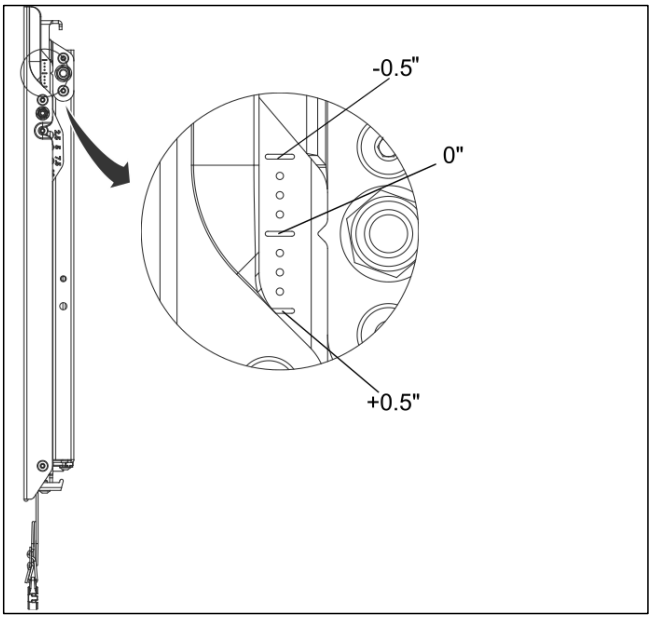
■高さの微調整

1. 高さの微調整ネジを調整し、各インターフェース・ブラケット (A と B) の高さを調整することができます。設置後のディスプレイの傾きや仕上げとの高さの微調整に使用してください。(図 33 参照)

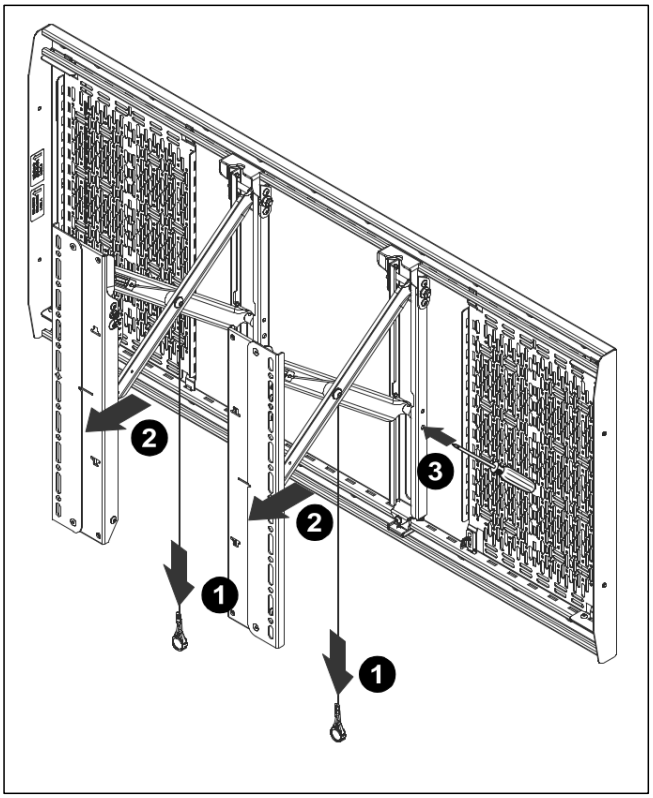


【図-33】

2. 各インターフェイス・ブラケット（AとB）の側面にある高さ調整マークを参照し、各ブラケットの調整済み高さを確認してください。
同時に複数台数のインストールの際に同じ位置に調整する際の目安にも活用いただけます。(図 34 参照)



【図-34】



【図-35】

■点検保守

マウントの引き出しと格納

⚠ マウントの引き出しは、整備時または設置時にのみ行うようにしてください。実際の使用状態において、マウントを引き出したり途中位置で保持して使用するようには想定していません。
このような使い方はしないでください。

1. マウントを伸ばすには 両方のインターフェースブラケット (A と B) のホームラッチリリースコードを引っ張ってください。(図 35 参照)

2. マウントが外れたら、ディスプレイのベゼルの端を注意深くつかみ、ゆっくりと引き出してください。

3. ドライバーまたは金属棒を穴に挿入して、ブラケットを使用位置にロックすることができます。(図 35 参照)

4. マウントを格納するには：
周囲のディスプレイが見えないように注意しながら、ディスプレイベゼルの縁を注意深く押してください。